

小牧市と健康づくり推進における包括連携協力協定を締結

～フレイル予防による市民の健康維持・増進のための健康づくり事業を推進～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）と小牧市（愛知県）は1月14日、「健康づくり等の推進に係る包括連携協力に関する協定」を締結しましたので、お知らせいたします。両者は相互の資源を有効に活用しながら、フレイル予防をはじめとする市民の健康維持・増進のための健康づくり事業を推進します。



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

**住友理工**

近年、高齢化の進展により、健康寿命の延伸に向けた取り組みがますます重要になっています。住友理工は2015年、地域包括ケアシステムをはじめとした「健康」「医療」「介護」に関する地域福祉の向上などを目指して、糸島市（福岡県）、九州大学との間で3者協定を締結。糸島市民の皆さまにご協力いただきながら、フレイル予防に関する研究などを進めてきました。

この成果をもとに、当社 小牧本社・製作所が所在する小牧市においてもフレイル予防¹を推進しようと、住友理工と小牧市はこのたび、本協定を締結することとなりました。相互に連携・協力することで、フレイル予防に加え、健康づくりや生活習慣病予防などを推進し、市民のより健康的な生活を実現していきます。



¹ 「フレイル」とは、加齢とともに身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態のことを指す。ひとたび要介護状態に陥ると改善が極めて難しくなることから、フレイル予防の考え方では、フレイルの段階で早期に発見・把握することにより、適切な介入・支援で健康状態を改善し、健康寿命を延ばすことを目指す。

具体的には、住友理工が九州大学と開発したフレイルチェックシステムを導入し、来年度以降、定期的なフレイルチェックを実施することを計画しています。まずは、小牧市の中でも高齢化率が特に高く、筋・骨格疾患の方が多い東部地区をモデル地区に指定して活動し、本人による早期の認識と周囲による素早い介入を促す“気づきの支援”と、市民自らが動き、社会全体で支え合える街づくりを推進します。



協定締結式で記念撮影に応じる山下市長（右）と社長 清水



フレイルチェックのテスト項目を体験する山下市長（中央）

1月14日に小牧市内で行われた協定締結式では、小牧市の山下史守朗市長が「高齢化が進む中で、健康寿命をいかに伸ばすかが市の大きな目標となっている。健康と支え合いを両輪として、地域の中で循環させていくことが重要で、住友理工のお力添えに大いに期待している」とあいさつ。当社社長 清水は「小牧市に立地する企業として、この日を迎えられることをうれしく思う。介護生活になる前にフレイルチェックを実施して、より多くの人に、より健康的な生活を長く送っていただくのが我々の願いだ」と本事業の意義を強調しました。

住友理工グループは、これらの社会課題を当社の技術や事業活動を通じて解決を図るとともに、その先にどのような未来が実現できるかを常に見据えながら新たな事業に取り組むことにより、持続可能な街づくりを目指してまいります。

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>